

## 公立大学法人青森公立大学「大学生の就業力育成支援事業」について

### 1 文部科学省より選定された事業

平成 22 年度「大学生の就業力育成支援事業」

### 2 補助事業の趣旨

各大学・短期大学において、入学から卒業までの間を通じた全学的かつ体系的な指導を行い、学生が社会的・職業的自立が図れるよう、大学の教育改革の取組を国として支援するもの。

### 3 選定年月日

平成 22 年度 9 月 28 日

### 4 取組内容

テーマ 『全国最下位の有効求人倍率下での就業力向上』

#### (1) 産学連携

##### ①実務家の講義

平成 23 年度からの新カリキュラムに 1 単位（計 7 コマ）の 2 年次配当科目として設定し、全学科共通科目とする。

講義を依頼する実務家は 4 業種程度とし、平成 21 年度卒業生の就職先の割合が高い業種を中心にピックアップする（卸売・小売業、金融・保険業、サービス業、公務、情報通信業等）。

各業種 6 コマ講義し、最終の 1 コマを総まとめとしてコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を目的としたグループディスカッションを行う。

##### ②地元企業との「連携協議会」の設置

現在の雇用情勢は、首都圏に比べ、地元企業の雇用吸収力の低下が問題となっている。そのため、本学では「連携協議会」を設置し、大学・地元企業等（計 10 企業程度）の議論の場を設け、積極的な意見の交換や企業が求める人材像などの情報提供等を求める。

また、企業の人事に精通するゲスト講師（有識者）を招聘し、首都圏の景気・雇用情勢や企業の採用情報などの情報提供を求めると同時に「連携協議会」への助言をしてもらい、勉強会の要素も兼ねて行う。

「連携協議会」は年 2 回実施し、キャリア形成ガイダンスが行われる 5 月、11 月に合わせ、前月の 4 月、10 月に行う（予定）。

#### (2) 初年次からのキャリア意識形成（就職意識向上）

初年次からキャリアについての意識向上を図るため、キャリア形成ガイダンスの充実を図る。具体的には初年次（入学時オリエンテーション期間）から就職情報提供企業（リクルート、毎日コミュニケーションズ等）のガイダンスを始め、「連携協議会」から得た就職情報の提供等を行う。

また、学外において社会貢献活動（大学周辺地域や通学経路のゴミ拾い活動等）を行い、チャレンジ精神とともに心身を磨き、学生の人間力向上を図る。

### （3）父母対象のキャリア形成ガイダンス

近年、親の就職情報の認識不足が顕著に見られ、子供（学生）にミスリードするケースがある。親の意見は子供（学生）の就職に大きな影響を与えることに加え、子供（学生）に甘く接している傾向も見られるため、子供（学生）にだけでなく、親へのキャリア形成ガイダンスも必要と考える。また、「連携協議会」で得られた情報等を定期的に配信する年2回就職情報誌を作成し、成績通知書に同封して送付する。

多数の父母が来学する入学式の日を父母を対象としたキャリア形成ガイダンスを開催し、子供（学生）のガイダンスと同様に就職情報提供企業（リクルート、毎日コミュニケーションズ等）のガイダンスを始め、「連携協議会」から得た就職情報の提供等を行う。また、入学式以外にも年2回の父母対象キャリア形成ガイダンスを行い、成績通知送付時に呼びかける。

### （4）キャリアセンター業務の改善・強化

本学では、就職支援室からキャリアセンターへと名称変更をしたが、実際はほぼ就職支援業務のみを行い、「本当のキャリア」を指導する組織とはなっていない。

そこで、当事業の支援期間である5年間、「キャリア形成専門員（仮称）」を雇用し以下のようにキャリアセンター業務を改善・強化する。

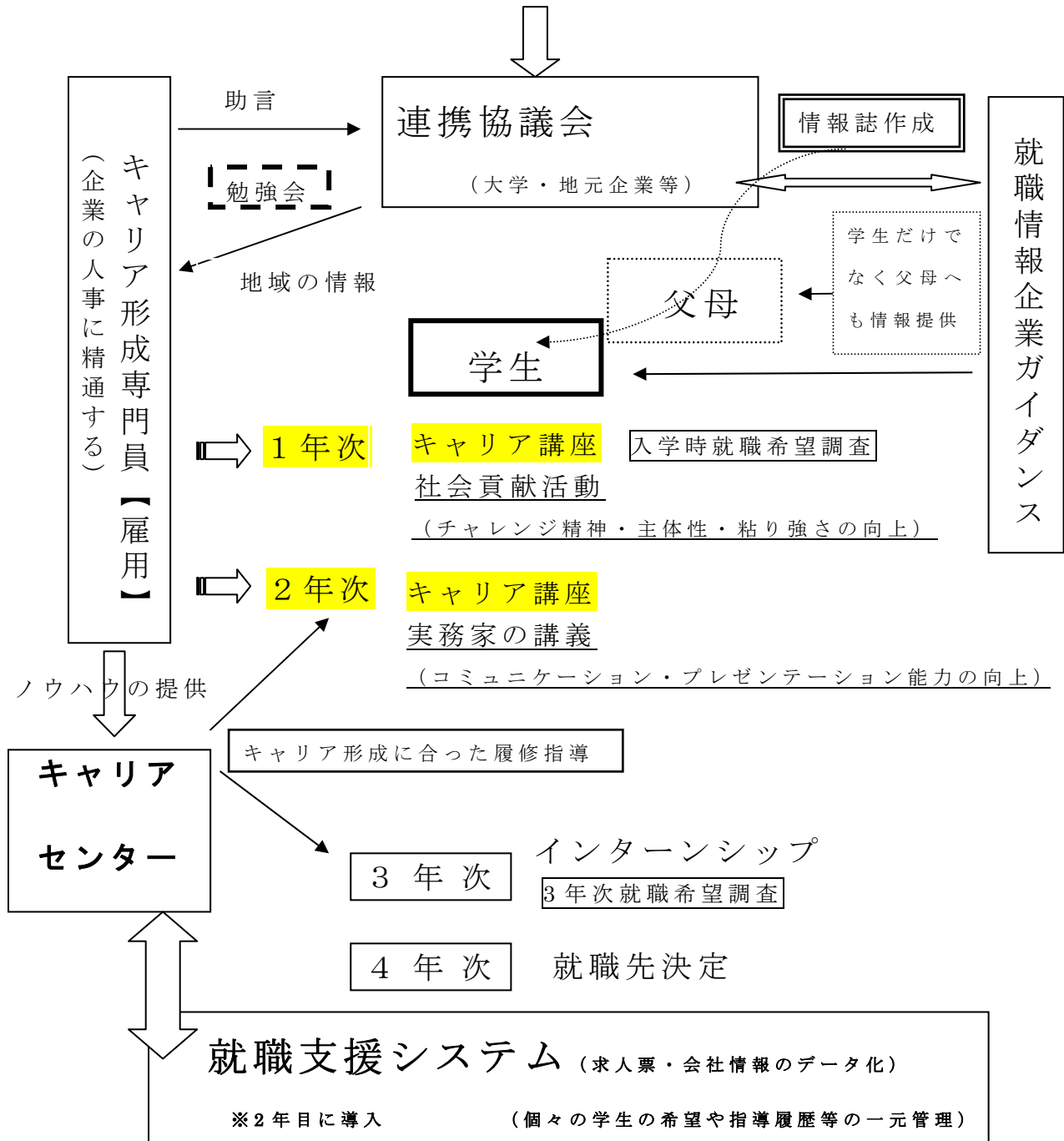
- ・週1回1、2年次生向けにキャリア講座（「キャリア形成専門員」が講師）を開催する（テキストとして「キャリア形成ガイドブック」を作成）。
- ・「キャリア形成専門員」と職員が首都圏新規企業開拓を行う。
- ・キャリアを意識した履修指導を行う。
- ・入学時オリエンテーション期間に就職希望調査を実施する。
- ・「キャリア形成専門員（仮称）」から職員がノウハウを学び、6年目以降の体制を整える。
- ・個々の学生にきめ細やかな指導を行うことができる「就職支援システム」を導入し、学生のニーズに応える就職支援を行う。
- ・各就職先企業へのアンケート調査を行う。

## 5 申請額

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合 計
申請（予定）額 （千円）	7,092	19,230	15,030	15,030	15,030	71,412

取組の概要

地元企業の雇用吸収力の低下  
(全国最下位の有効求人倍率<青森県>)



【4つの柱】

- ① 産学連携 (実務家の講義、地元企業への働きかけ)
- ② 初年次からのキャリア意識形成 (就職意識向上)
- ③ 父母対象のキャリア形成ガイダンス
- ④ キャリアセンター業務の改善・強化